



Beauty from the Inner  
**APPASSIONATO**

今井俊輔 & 中井智彦  
バリトンが魅せる歌の世界

2024.8.18 SUN

OPEN 14:30 START 15:00

茨木市市民総合センター (クリエイトセンター)

センターホール

大阪府茨木市駅前4丁目6-16 ☎ 072-624-1726

TICKET ¥5000 (全席指定)

090-6988-0882 (菊池)  
(公財)茨木市文化振興財団 072-625-3055 (10:00-17:00)  
財団チケットカウンター (クリエイトセンター1F)  
インターネット予約  
[HTTP://SHOP.YKSONIC.COM](http://SHOP.YKSONIC.COM)  
[HTTPS://WWW.IBABUN.JP/](https://WWW.IBABUN.JP/)



神田 将/エレクトーン



菊池玲那/エレクトーン

主催/ムセイオン音楽協会 企画制作/神田将音楽事務所 後援/(公財)茨木市文化振興財団  
協賛/ナリス化粧品 協力/ヤマハエレクトーンシティ





## 今井俊輔 SHUNSUKE IMAI (オペラ歌手・バリトン)

東京藝大大学院修了。その後イタリアへ渡り研鑽を積む。2013年ライブツィヒとの提携公演「マクベス」マクベス役でデビュー。以降「トスカ」スカルピア、「外套」ミケーレ、「アイダ」アモナズロ、「ファルスタッフ」ファルスタッフ等、多くのオペラに出演。劇場を包む声量と明るく倍音の豊かな響き、かつ黒く深い音色で聴衆の耳を掴むバリトンであり、卓越したテクニックと表現力のいずれもが絶賛され、国内外の指揮者やオペラ演出家からも評価が高い。2003年よりBS日テレ「BS日本・こころの歌」にコーラスグループFORESTAとして活動。2,000曲近い曲目をレパートリーとして納めている。また親しみやすいトークを交えたソロコンサートでも多くのファンを魅了している。東京二期会会員 第19回2021年度上毛芸術文化賞受賞。



## 中井智彦 TOMOHIKO NAKAI (歌手・俳優・表現者)

東京藝術大学卒業。2007年「レ・ミゼラブル」(司教役)で初舞台。2010年から5年間、劇団四季に所属。「美女と野獣」(野獣役)と「オペラ座の怪人」(ラウル役)はそれぞれ約500ステージをつとめる。艶のあるバリトンを持ち味にミュージカルや歌手活動をはじめ、最近ではラジオ番組のナビゲーターやオリジナル舞台の創作など、活動の場を広げる。近年のミュージカル出演作は「ビリー・エリオット~リトル・ダンサー~」(トニー)、「ナイツ・テイル-騎士物語-」(ピリソス役/歌唱指導)、「ジェーン・エア」(シンジュン役/歌唱指導)など。今後の出演として「ムーラン・ルーージュ!ザ・ミュージカル」(サンティアゴ役)/(2024年6月20日より帝国劇場/梅田芸術劇場メインホール)を控えている。



## 神田 将 YUKI KANDA (エレクトーン奏者)

1台のエレクトーンでフルオーケストラを思わせる豊かな音を奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。特にクラシック作品の演奏を得意とし、独自の技術と高い音楽性が絶賛されている。仙台クラシックフェスティバル(2009-)や、霧島国際音楽祭(2013-)などの日本を代表する音楽祭にエレクトーン奏者として出演。また、中国上海国際芸術祭への出演を機に、海外音楽祭への参加やリサイタルも増え、日本生まれの楽器であるエレクトーンを演奏する日本人音楽家として各国で人気を博している。国内では、ソロコンサートを中心にしながらも、数々の一流音楽家との共演や、舞踊や邦楽などジャンルを超えたコラボレーションでも好評を博す。また、第九演奏会やオペラ上演でのエレクトーン1台によるフルオーケストラ担当、全国各地の小中学校への訪問コンサートなども積極的におこない、エレクトーンの可能性を広げるための努力を重ねているほか、公演の制作や演出の手腕にも定評がある。東京文化会館でのリサイタルを2015年から継続しており、2021年にはエレクトーン史上初となる東京文化会館大ホールでのリサイタルを成功させた。2024年4月に演奏家活動30周年を迎える。演奏のみならずスマートなトークにも磨きがかかり、今後のさらなる活躍が期待される。公式ホームページ <https://www.yksonic.com>



## 菊池玲那 KIKUCHI REINA (エレクトーン奏者)

1996年生まれ。2歳からヤマハ音楽教室に通う。幼少よりエレクトーンを岡本広美氏、ピアノを柳生雅永子氏に師事。一般財団法人ヤマハ音楽振興会エレクトーン特別ゼミで出会った神田将氏の音楽に憧れ、2010年に入門して現在に至る。2017年には、韓国昌原第九、宍粟第九、周南第九に合唱団員として参加し、神田将氏の演奏と共に歌う。2018年4月には、姫路労音「エレクトーンの魅力学ぶ集い」に出演。2020年にエレクトーン演奏家として本格的に活動をスタートし、玉村三幸(フルート)、波多江史朗(サクソフォン)、石川昇平(パーカッション)、米津真浩(ピアノ)、松本昌子(シンガー)、清水理恵(ソプラノ)、平野雅世(ソプラノ)、井上美和(メゾソプラノ)、マンドリンオーケストラコンコルディア等と共演。日本青少年文化センターによる学校訪問巡回コンサートに参加する他、舞台監督や制作のアシスタントも努めるなど経験を広げており、将来を期待されている。